

# 高松市中心市街地 夜間景観ガイドライン (概要版)

目 次	
第1章	ガイドライン策定の背景と目的…………… 1
第2章	夜間景観を考える際の基本的事項…………… 1
第3章	中心市街地の夜間景観の方針…………… 3
第4章	魅力的な光の在り方…………… 5

令和7年11月

# 第1章 ガイドライン策定の背景と目的

## 1 策定の背景とガイドラインの目的

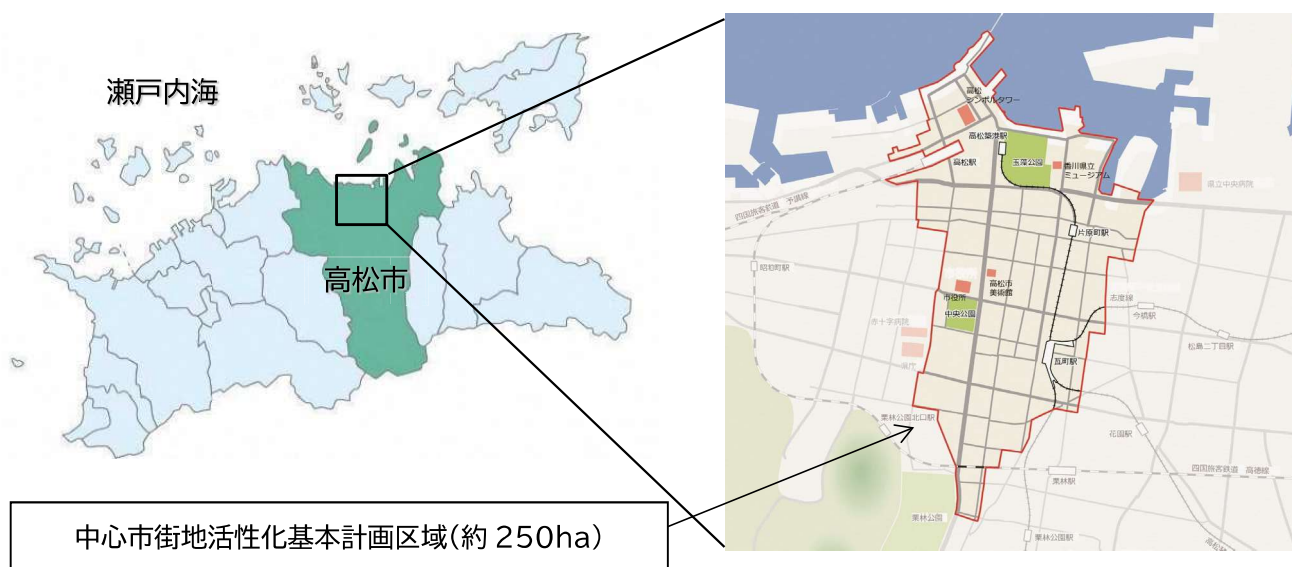
本市の顔とも言えるサンポート高松を含めた中心市街地において、ウォーターフロントに位置する恵まれた環境を最大限に発揮し、より一層、活力とにぎわいある都市空間の形成を図るため、夜間においても、高松ならではの景観をつくり、魅力的なものとしていくための、市として目指すべき夜間景観の方向性を示すガイドラインを策定します。

本ガイドラインは、本市が目指す夜間景観のあり方を示し、景観形成に関わる様々な主体が一体となって高松らしい魅力的な夜間景観形成を進めていくための指針です。

市民・民間事業者・行政それぞれが、夜間景観形成の方向性や演出方法等に対する理解を深め、個別の計画や設計に適切に反映するとともに市民や観光客が楽しむことのできる光のイベント等が一層促進されることにより、中心市街地の夜間景観をより魅力的にしていけるために策定するものです。

## 2 ガイドラインの対象範囲

本ガイドラインは、公共施設、民間施設の別に関わらず、中心市街地を対象範囲とします。



# 第2章 中心市街地における夜間景観を考える際の基本的事項

## 1 これからの夜間景観に求められること



## 2 光の質の向上

### (1) 鉛直面の光

- ・ 建築物の壁面や樹木等にあたる鉛直面の光は、足元等付近の床面を照らした光と比較して、ひとの視線に入りやすい光であるため、空間に明るさ感を与えるために効果的な光です。
- ・ 鉛直面の輝度を高めることで、少ないエネルギーで効果的に明るいと感じられる空間をつくることができます。



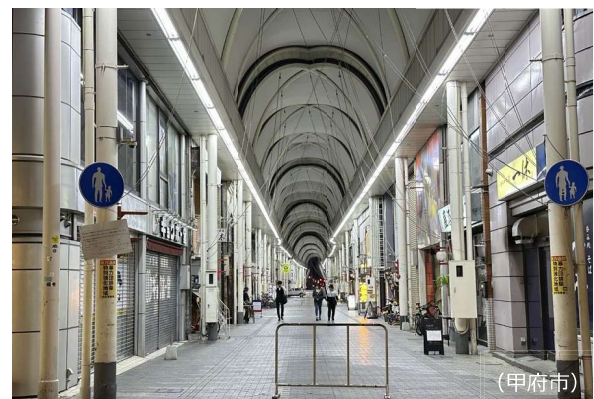
### (2) 不快なまぶしい光（グレア）の抑制

- ・ 光源や反射光が視界に入り周囲が見えにくく、不快に感じる不要なまぶしさを抑えることです。照明光源のグレアを抑えることで、人に優しく美しい、快適な夜間の照明環境をつくることができます。



### (3) 適切な色温度

- ・ 光源の光色を表す単位はケルビン（K）。数値が小さい（色温度が低い）ほど、赤みを帯びた光、数値が大きい（色温度が高い）ほど、白色～青みを帯びた光です。
- ・ 本市では、暖かみの感じられる低い色温度（2500～2800K）の器具の使用を推奨しています。



1,000K 2,000K 3,000K

5,000K 6,000K 7,000K 10,000K

### (4) 光のオペレーション

- ・ 四季の変化やイベント時に応じて、光の明るさや色味など、照明方法を変更することにより、一層の魅力の創出が可能となります。夕暮れや深夜などの時間の変化に応じて、ふさわしい光になるよう調光することで、省エネルギーにも貢献します。

### (5) 適度な陰影

- ・ 光と影を効果的に使ったメリハリのある演出により、印象に残る夜間景観の創出が可能となります。全体を均一に照らすのではなく、光と影を対比的に生み出すことで、立体感のある印象的な景観となります。

### (6) 周辺環境への配慮

- ・ 立地状況等を踏まえ、照度を抑えたり、深夜の時間帯での演出を避けるなど、周辺への配慮が必要となります。



### 第3章 中心市街地の夜間景観の方向性・方針

〈方向性①〉高松ならではの独創的で魅力的な光をつくる

〈方向性②〉市民も観光客も、世界レベルのナイトライフを楽しめるエリアを育む

〈方向性③〉民間事業者と行政などが連携し、未来に向かって夜景を育み続ける

#### ①サンポート高松（水辺）

##### 【夜間景観の方針】

- ・トワイライトから夜にかけて、淡く変化していく空と海を見ながらゆったりと特別な時間を過ごすことができる海辺で、海面に映る陰影の利いたまちの光がアクセントとして添えられるような、きらめく水辺の夜間景観の形成を目指します。

##### 【光の方針】

- ・フェリーなどの海上や遠方から望める、ビル群の光のスカイラインを形成します。
- ・魅力的なシンボルとなるよう、港らしい施設を照らします。
- ・施設のライトアップや低位置の光により陰影をつくります。
- ・水際の施設を照らすことで、水面に映り込む光をつくります。



#### ②サンポート高松（市街地）

##### 【夜間景観の方針】

- ・市街地とアリーナ・港を行き来する人や、シンボルタワーなどの夜景を楽しむ人などが、ライトアップされたビルや木々などの都会的な演出を楽しめる、華やかな夜間景観の形成を目指します。

##### 【光の方針】

- ・建物の低層階はファサードや看板を華やかに照らし、回遊を促す光をつくります。
- ・公共施設なども含め、閉館した後も内部からの光が漏れ出るようにし、温かい表情を演出します。
- ・人々が集まる広場には、陰影のある明るさを創出します。



#### ③高松城跡

##### 【夜間景観の方針】

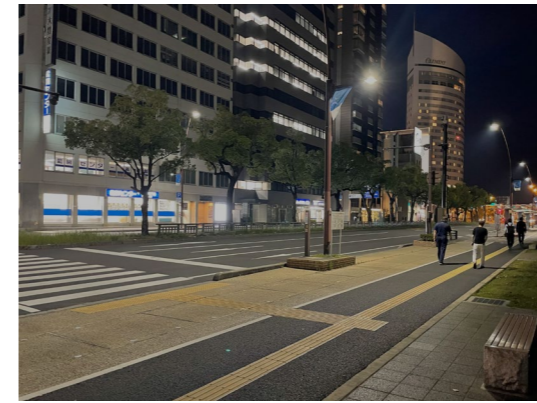
- ・海城の石垣や樹木をはじめとする固有な資源を、シンボリックに照らし、歴史文化の核として風格と威厳が感じられる夜間景観の形成を目指します。

##### 【光の方針】

- ・石垣や、公園の外側から見える樹木を、風格を感じさせる光で浮かび上がらせます。
- ・鞘橋や門、北側の櫓などを、威厳を感じさせる光でライトアップします。



#### ④中央通り



##### 【夜間景観の方針】

- ・主要なエリアをつなぐメインルートとして、市民にとって大切なクスノキなどの街路樹のライトアップにより、大通りに沿って真直ぐの、光を連ね、沿道の建物の光とあいまって人を快適に導く夜間景観の形成を目指します。

##### 【光の方針】

- ・クスノキなどの街路樹を照らし、鉛直面の明るさ感につながる連続的な光をつくります。
- ・沿道の建物からの漏れ光や壁面の照明などにより、歩道空間を照らします。

#### ⑤商店街



##### 【夜間景観の方針】

- ・商店が集積するにぎやかな界隈では、買い物や飲食の楽しさに加えて、夜には店舗ごとの工夫が凝らされた光の演出が上乘せされることにより、ナイトライフを楽しめるにぎやかな夜間景観の形成を目指します。

##### 【光の方針】

- ・ベンチなど滞留のため空間は、心地よい陰影のある光をつくります。
- ・商店街の空間は、アーケード屋根への間接照明により明るさ感を創出すると共に、下方向への照明を最適化することで店舗の光を引き立てます。
- ・店舗からの漏れ光や看板照明でにぎわいを演出し、閉店後や休業日でも夜間は照明をつけたままにし、にぎわいの光が途切れないように配慮します。

#### ⑥中央公園



##### 【夜間景観の方針】

- ・当該公園の再整備に当たり、光によって浮かび上がる木々とその影が魅力的な陰影をつくりだすことで、夜の散歩を楽しみ、安心してくつろげる、心地よい落ち着いた夜間景観の形成を目指します。

##### 【光の方針】

- ・安全に散歩できるように、園路に沿って足元を照らします。
- ・木々のライトアップにより、鉛直面の明るさ感を創出し、心地よさと安心感を創出します。
- ・居心地よい空間を演出するため、柔らかい光をつくります。
- ・滞留する広場などには、陰影のある明るさ感を創出するため、ポールスポットライトなどで照らします。

夜間景観を形成していくうえで、特に重要となる6つのエリア



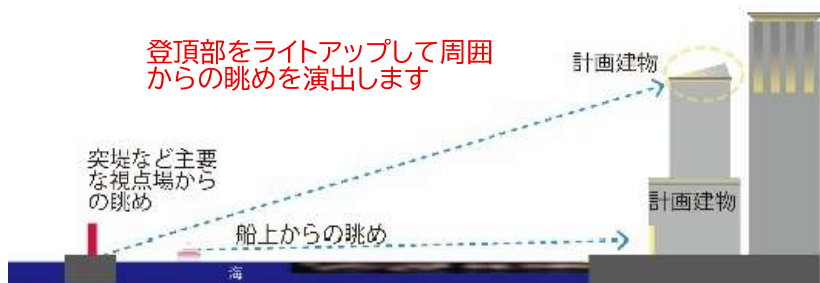
## 第4章 魅力的な光の在り方

### 1 空間ごとの特性を活かす照明手法等

#### (1) 水辺の光

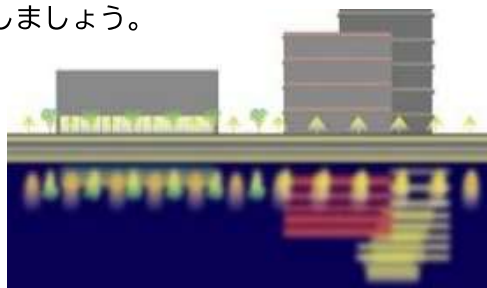
##### ① 水辺付近の建築物の光

- ・水辺付近やサンポートの高層建築物は、水辺部への映り込みに配慮するため、建築物の存在感を演出する頭頂部のライトアップや水際低層部をライトアップしましょう。



##### ② 水際の広場や通路の光

- ・鉛直面の光が水面に映り込み、水辺の雰囲気演出するため、水際の建築物は低層部付近のファサードをライトアップしましょう。
- ・海上や波止場からの眺め意識した水辺らしさを演出するため、護岸や手すり等の工作物をライトアップしましょう。



#### (2) にぎわいの光

##### ① 建築物の光

- ・建築物の店舗などでは、夜間の人通りに留意し、通りや通路に面して光が漏れるようにしましょう。
- ・閉店後も夜間は照明を残し、光が途切れないようにしましょう。
- ・低層部のファサードライトアップ等は、隣接する建物と連続するように照明器具を配置しましょう。



## ② 歩行空間の光

- ・歩行空間の照明は、上方に光を拡散させず、足元に光が届くように快適な歩行空間を演出しましょう。
- ・歩行空間のベンチやモニュメントは、視認性を向上させるとともに、連続的にライトアップすることで、動線を強調することができます。
- ・アーケードのある商店街では、アーケードを照らすことによる間接光により、柔らかく街なみを照らし、店舗のにぎわいが映えるようにしましょう。



## ③ 植栽空間の光

- ・街路樹や通路沿いの高木植栽を連続的にライトアップすることで、夜間でもまちなかの緑を感じられるものにするとともに、動線の方向性や視線を誘導する演出をしましょう。
- ・樹種や樹形を活かしたライトアップを行うことにより、通りや場所の個性を演出しましょう。
- ・低木や地被植物の植栽地をライトアップし、足元灯も配置する等、足元の緑を美しく見せるようにしましょう。

## ④ 広告物等の光

- ・広告物等の照明は、内照式照明はできるだけ避け、切り文字型(箱文字)のバックライトや文字のみの発光とするなど、上質な印象の照明にしましょう。
- ・デジタルサイネージは高彩度色彩や動きの速い映像を大面積で用いないようにし、周辺の夜間景観を阻害しないようにしましょう。



## (3) シンボルの光

### ① 城など歴史的資源の光

- ・建築物などでは、夜間の人通りに留意し、通りや通路に面して光が漏れるようにしましょう。
- ・石垣へのライトアップとともに、石垣上部の植栽などのライトアップを図り、シンボリックな光を演出しましょう。

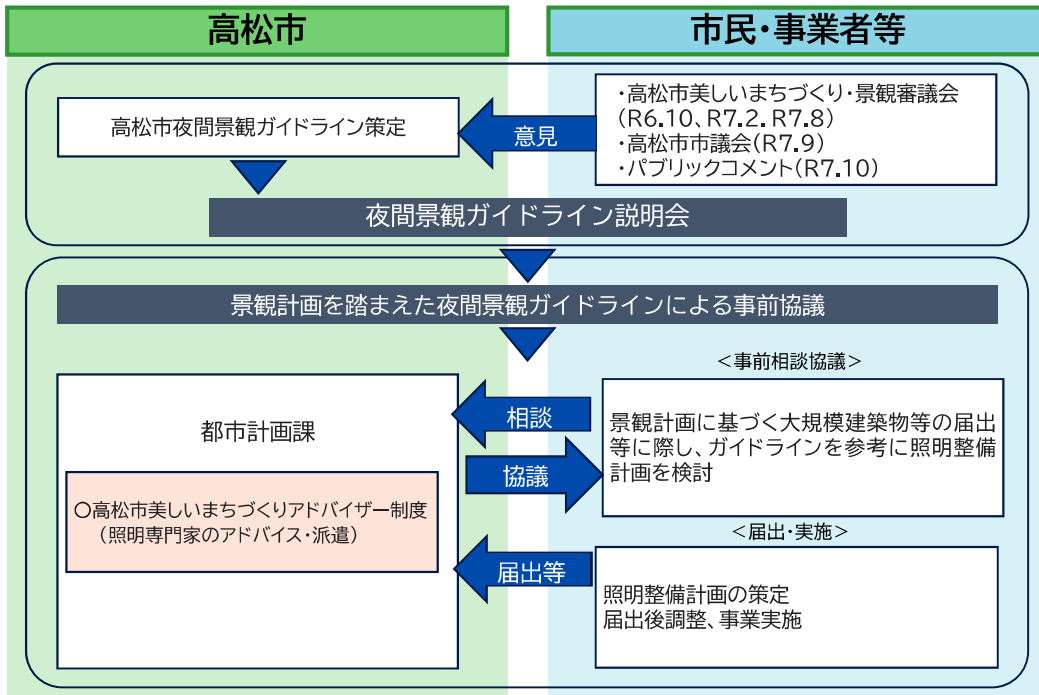


### ② 都市公園の光

- ・中心市街地の公園として、夜間に人が訪れても休息できる場所と夜間照明を配置しましょう。
- ・夜間動線や施設付近の樹木やベンチなどファーニチャー下のライトアップを行いましょう。



## 2 魅力ある夜間景観づくりの進め方



T 多彩な<sup>あか</sup>灯りで  
 K 煌めく<sup>きら</sup>みなとまちの  
 M 未来の夜景を  
 T 共につくっていく

高松市中心市街地夜間景観ガイドライン  
 2025年11月策定  
 高松市都市整備局都市計画課  
 〒760-8571 高松市番町一丁目8番15号  
 TEL:087-839-2455 FAX:087-839-2452